

TOTO

台付シングル混合水栓

TL386型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。

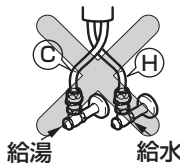


は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

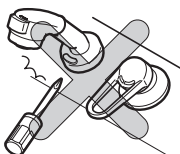
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



警告



必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめず、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う
また、本体およびフィルター取付部が熱くないことを確認する

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

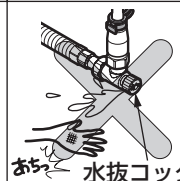


禁止

寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



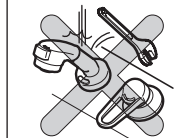
注意



禁止

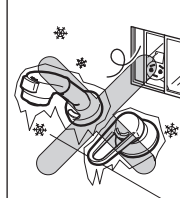
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「⑧ 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に
部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

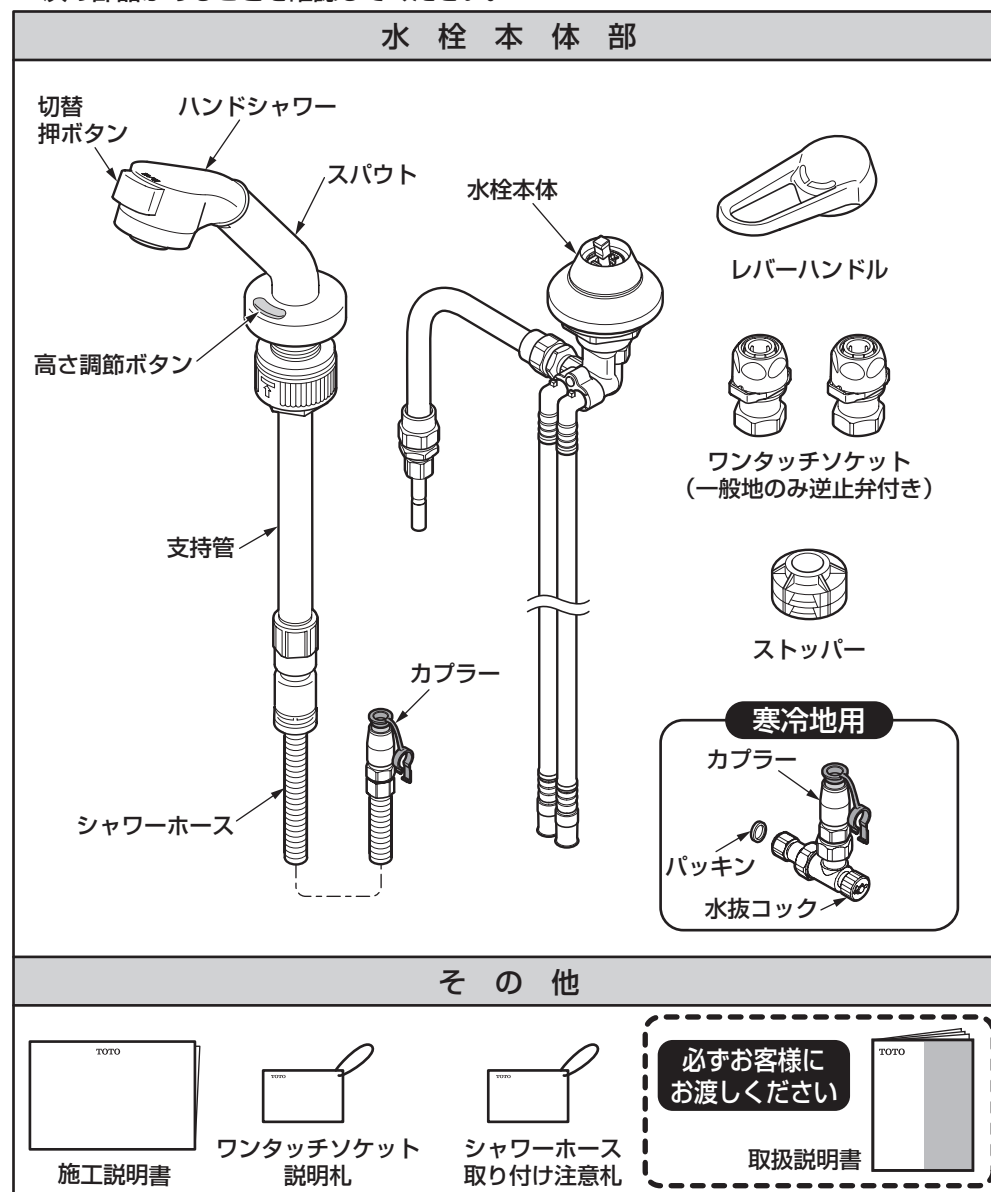
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	－20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅洗面所用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- シャワーホースを伝わって水がキャビネット内に侵入するおそれがあります。水受けトレイを必ず設置してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

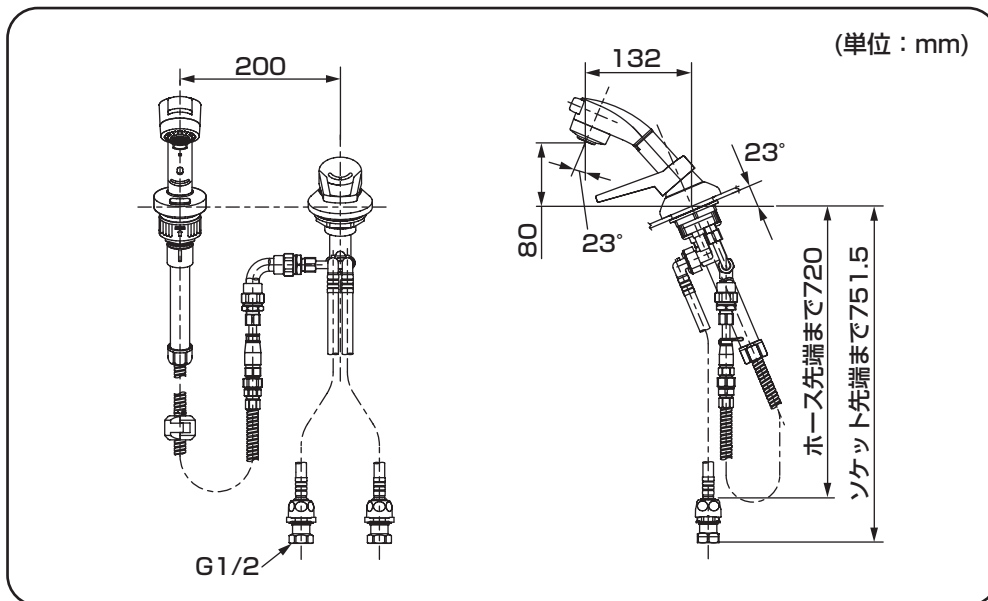
次の部品があることを確認してください。



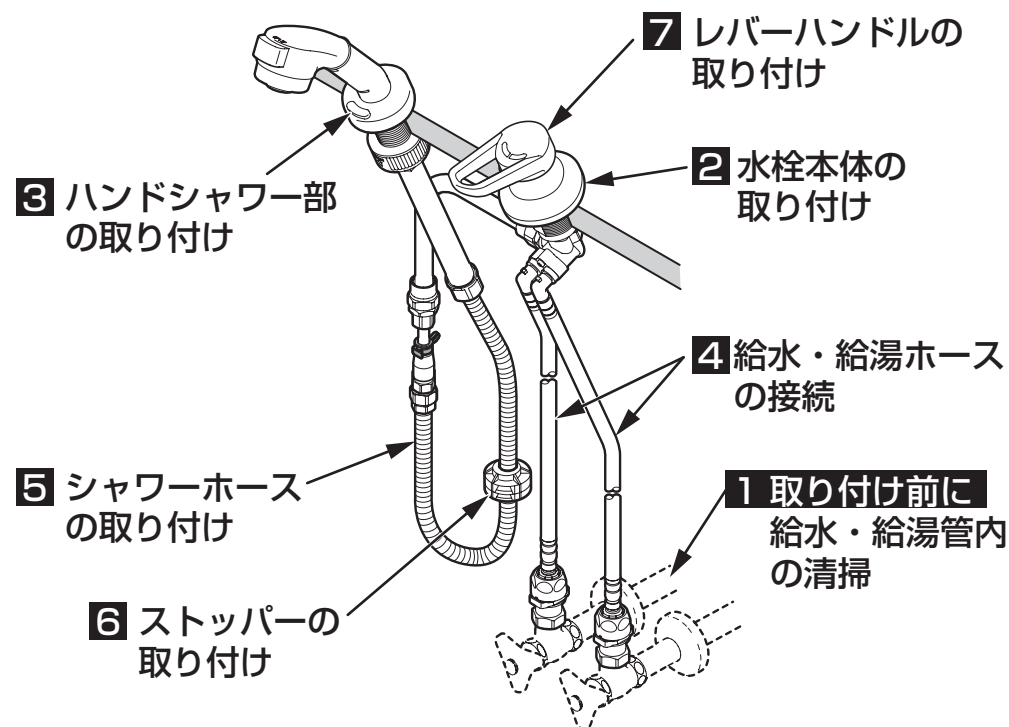
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ① 吐水量が少ない
- ② 温度調節がうまくできない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

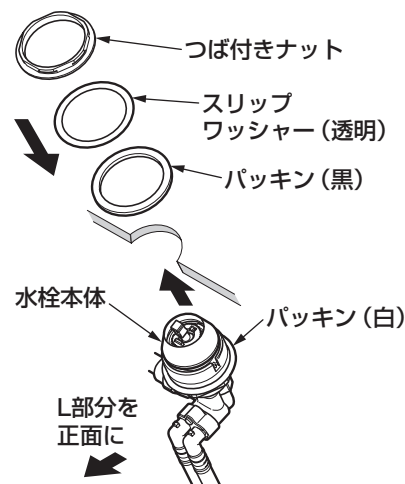


重要

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。

2 水栓本体の取り付け

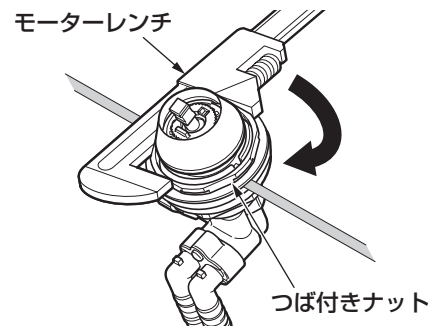
- ① 水栓本体をパネル裏側より挿入し、水栓本体のL部分が正面にくるようにする。
- ② パッキン（黒）、スリップワッシャー（透明）、つば付きナットを水栓本体に仮固定する。



- ③ つば付きナットを締め付け、本固定する。

注意

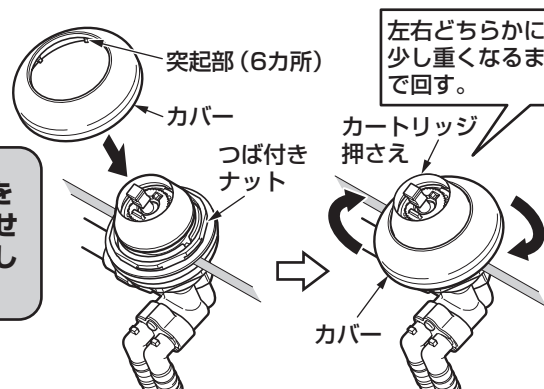
共回りに注意して締め付けてください。



- ④ 水栓本体にカバーを取り付ける。

注意

カバー裏側の突起部（6カ所）をつば付きナットの六角面にあわせて差し込み、左右どちらかに少し回して固定してください。

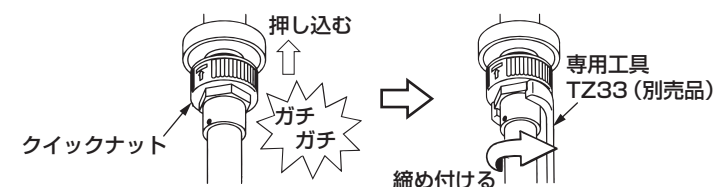
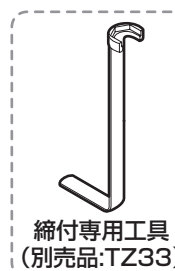
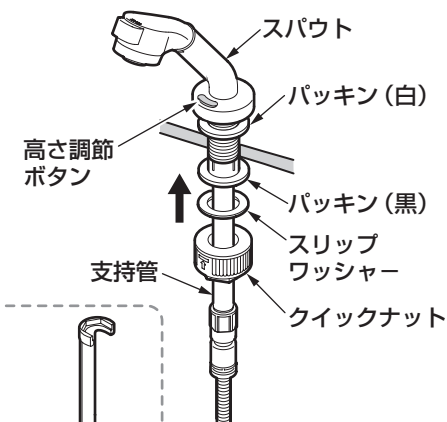


3 ハンドシャワー部の取り付け

- ① 取付穴周囲の汚れを取る。
- ② 支持管にパッキン（黒）、スリップワッシャー、クイックナットを通す。
- ③ 台座のグレーの高さ調節ボタンを正面に向け、クイックナットを押し上げ、仮固定する。
- ④ クイックナットを締め付け、本固定する。

注意

- パッキン（白）は必ずカウンターの上に取付けてください。
- スパウトが取付穴の中心にくるように固定してください。
- 固定には締付専用工具（別売品：TZ33）を利用して確実に締め付けてください。



裏面へつづく

4 給水・給湯ホースの接続

- ①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
- ②銅管部を広げ、ホースを差し込みやすくする。

注意

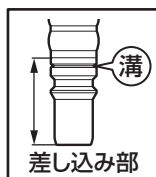
銅管部をつぶさないように注意してください。

ホースを接続する前に、同梱の説明札の「**ホースの接続方法**」を確認してから接続してください。

同梱の「**ワンタッチソケット**」の説明札は必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

- ③給水・給湯ホースの保護キャップを取り外して、異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに差し込み部が見えなくなるまで、確実に差し込む。

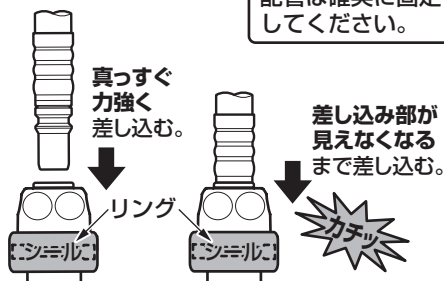
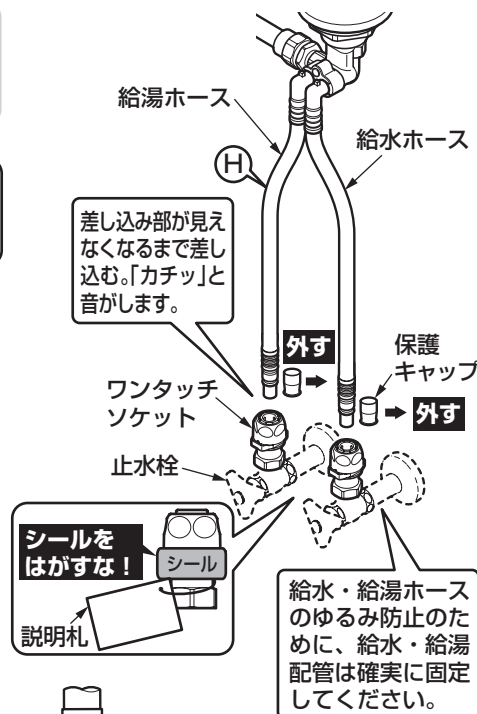
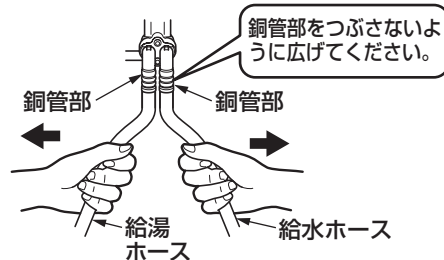
確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。



注意

シールを貼ったままホースをワンタッチソケットに差し込んでください!!

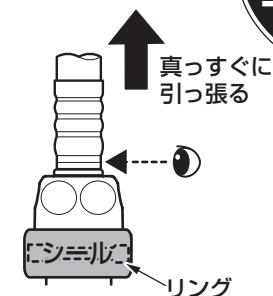
- シールはリング（シールの下）を外さないために貼っています。
- リングを外して差し込むと、ホースがロックされずに水漏れによる財産損害発生のおそれがあります。



- ④ホースを真すぐに引っ張って水平から見て、溝が見えないことを確認する。

- ⑤止水栓を開けて、接続部などから水漏れがないことを確認する。

- 差し込み部の溝が見えたと、水漏れするおそれがあります。

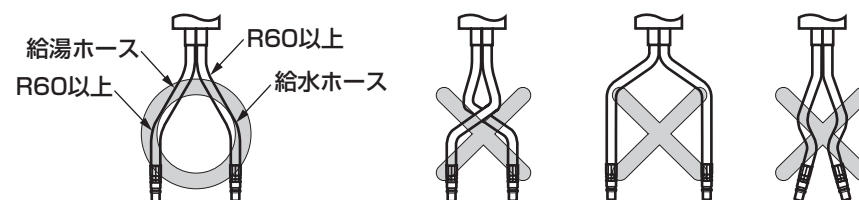


重要

施工後、万一ホースを外す場合は、説明札の「**ホースの取外方法**」・「**ホースの再接続**」を確認してから外してください。

給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



5 シャワーホースの取り付け

一般地用の場合

- ① 連結管に異物の付着がないことを確認し、カプラーを連結管にそれ以上差し込めなくなるまで真っすぐ奥まで差し込む。

止め輪がセットされている状態では通水管は差し込めません。止め輪を外してから通水管に差し込んでください。

重要
グリーンのスリーブが見えること。見えない場合は見えるまでカプラーを真っすぐに奥まで差し込んでください。

※この際、同梱の「シャワーホースの取り付け」の注意札を必ずホースに通してください。

- ② つばの下に止め輪を横から入れる。

- ③ 止め輪のフックをかける。

寒冷地用の場合

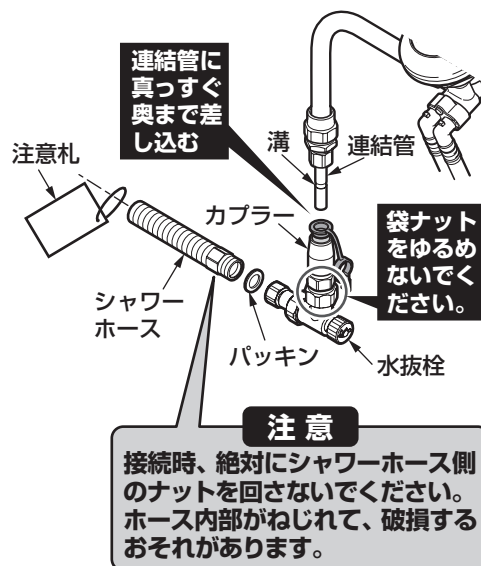
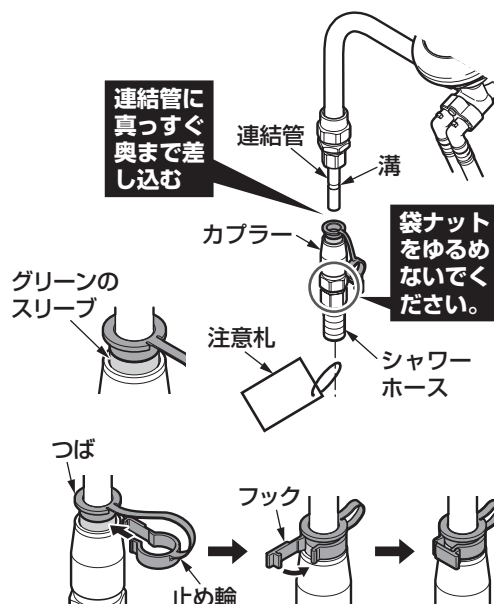
- ① 水抜栓側の袋ナットを回して、水抜栓をシャワーホースに接続する。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 締め付けの際は、工具（モンキーレンチなど）を使用して、確実に締め付けてください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ② 連結管に異物の付着がないことを確認し、カプラーを連結管にそれ以上差し込めなくなるまで真っすぐ奥まで差し込む。

止め輪がセットされている状態では通水管は差し込めません。止め輪を外してから通水管に差し込んでください。

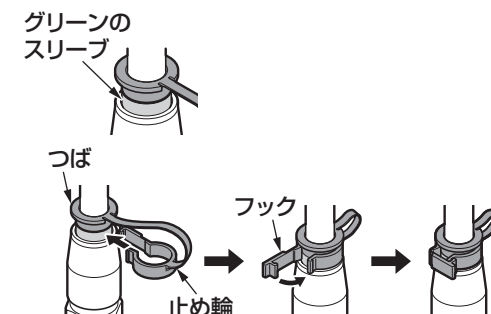


重要
グリーンのスリーブが見えること。見えない場合は見えるまでカプラーを真っすぐに奥まで差し込んでください。

※この際、同梱の「シャワーホースの取り付け」の注意札を必ずホースに通してください。

- ③ つばの下に止め輪を横から入れる。

- ④ 止め輪のフックをかける。



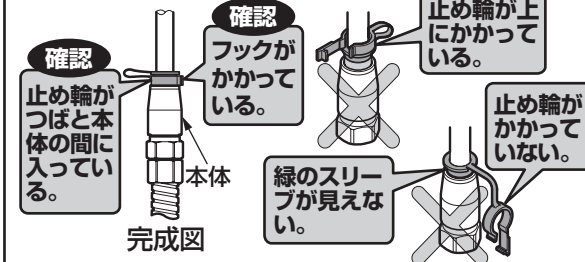
<取り外し方法>

作業前には、レバーハンドルが閉じていることを確認してください。

- ① フックを外す。
- ② 止め輪を外す。
- ③ つばを本体（金属）まで押し下げる。
- ④ つばを押し下げたまま、カプラーを下に引き抜く。



取付後の確認

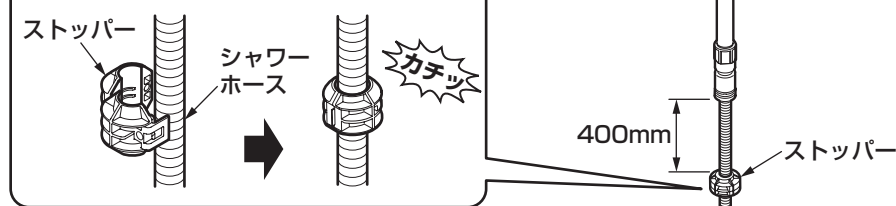


重要
施工後完成図どおりになっていることを確認ください。正しく施工していないと、しばらくして水漏れが発生することがあります。

6 ストッパーの取り付け

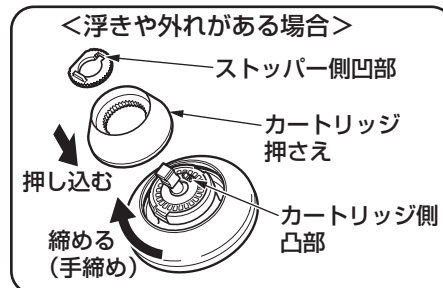
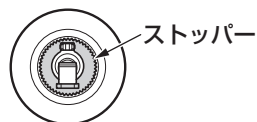
右図の位置にストッパーを「カチッ」とはめ込む。
※ホースを引き出したとき、ゆとりがないときはストッパーを適当な位置にずらしてください。

<ストッパーの取付方法>



7 レバーハンドルの取り付け

- ①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部をあわせて押し込んでください。

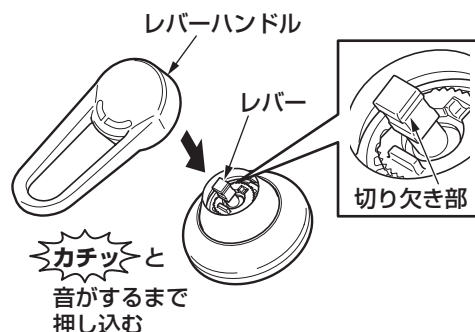


カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯があわないときは、カートリッジ押さえを**締め込む方向**にて歯をあわせるように調整してください。

- ②レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。
レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。



7 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。
お客様に十分に説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. ハンドシャワーを引き出し洗面ボウルの底に置く。

2. レバーハンドルを上げ、右側いっぱいに回す。

3. 水抜コックの下に水受け容器(洗面器など)を用意し、水抜コックを開ける。

●水抜コック：1カ所

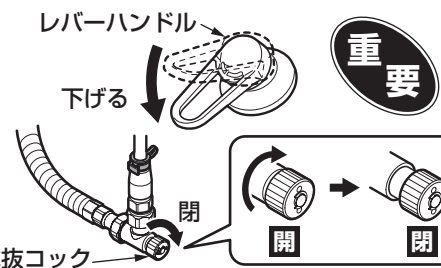
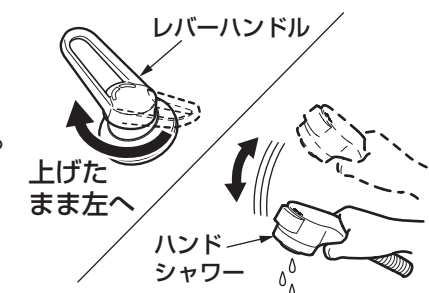
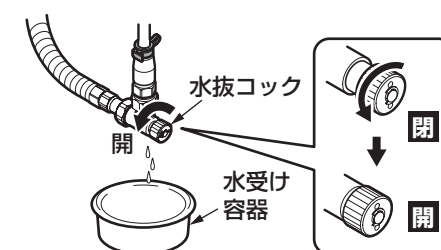
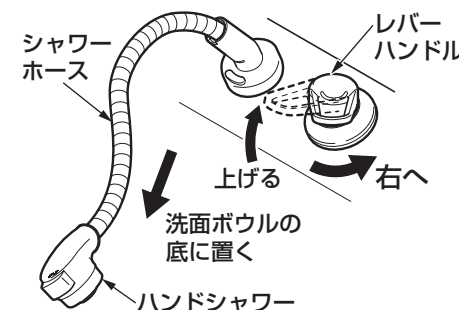
4. レバーハンドルを上げたまま左側いっぱい回す。

5. ハンドシャワー内の水を抜く。

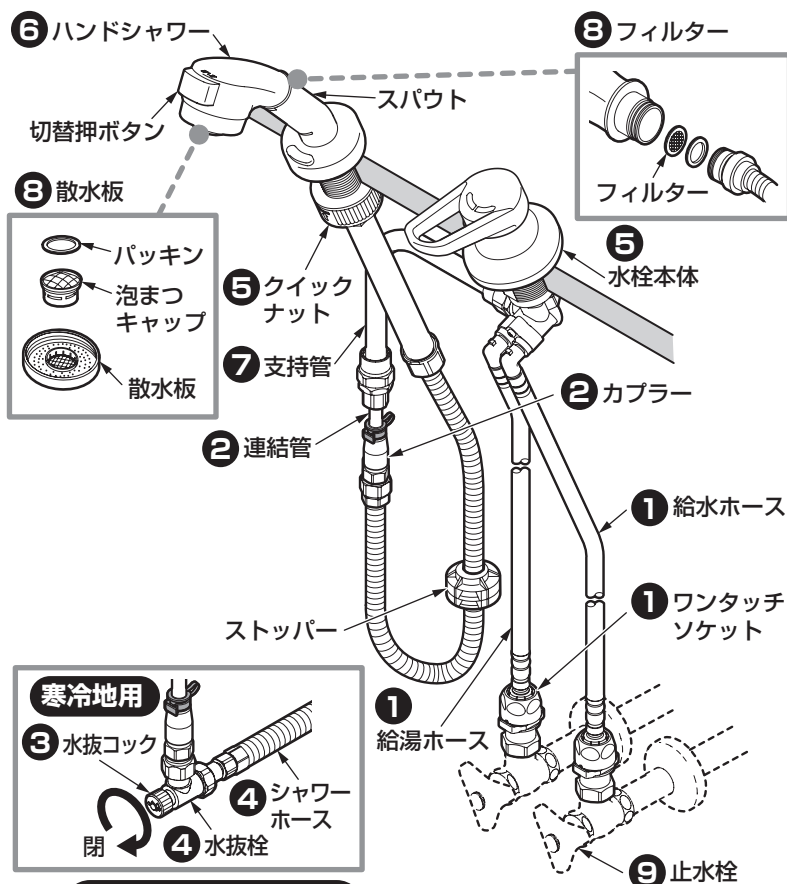
ハンドシャワーを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。

6. 水が抜けたら、ハンドシャワーを元に戻し、レバーハンドルを下げて、水抜コックを閉める。

●水抜コック：1カ所

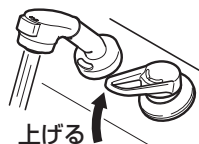


取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、
ハンドシャワーから水が
出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

➡ 6-3 - ④「給水・給湯ホースの接続」参照

② カプラーは連結管にしっかり差し込まれていますか？

➡ 6-4 - ⑤「シャワーホースの取り付け」参照

寒冷地用の場合

③ 水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

➡ 水抜コックを閉める。

④ シャワーホースは水抜栓にしっかり接続されていますか？

➡ 6-4 - ⑤「シャワーホースの取り付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑤ 水栓本体およびハンドシャワー部のクイックナットは確実に締め付けていますか？

➡ 6-2 - ②「水栓本体の取り付け」参照

➡ 6-2 - ③「ハンドシャワー部の取り付け」参照

動作確認

ハンドシャワーがスムーズに引き出せるか、
またスパウトがスムーズに上げ下げできるか
確認してください。

⑥ ハンドシャワーは洗面ボウルの先端付近まで引き出せますか？



➡ シャワーホースが止水栓や排水金具に干渉していないか確認する。

⑦ 支持管がきちんと上げ下げでき、固定できますか？



➡ 水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、支持管をふく。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑧ 散水板・フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 散水板・フィルターの掃除をする。



⑨ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。